



◆D-Project (デジタル表現研究会) 春の公開研究会◆

暁学園 暁小学校 水谷浩三

デジタル キャッチボール!



交流におけるデジタル表現の活用

— ネットワーク協働学習の学びを深めるデジタルな工夫 —

KIDS collaboration Project

003981

キッズ コラボレーション プロジェクト
全国多地点方言交流2002
第4回も9校700名の協働学習ですよ!

- キッズ コラボレーション プロジェクトとは
- 何でも書き込み掲示板(パスワード必要)
- 画ぞうはりつけ掲示板(パスワード必要)
- なかよしチャットルーム(パスワード必要)
- 方言クイズ 掲示板(誰でも書き込みOK)
- 方言しらべに使える充実したWebページ
- (学校ページがとても参考になります。)
- 参加クラス一覧表
- 第3回までの方言交流のページ
- 福岡雙葉小の方言交流ページ
- 大島小の方言交流ページ
- 大島小のマスコットくーちゃん

北海道 大成町立久遠小学校

石川県 松任市立蕪城小学校

宮城 気仙沼市立大島小学校

私立大阪信愛女学院小学校

私立宝仙学園小学校 (東京中野区)

私立福山女学園大学付属小学校 (愛知名古屋)

私立暁小学校 (三重四日市)

私立福岡雙葉小学校

沖縄 嘉手納町立嘉手納小学校

キッズコラボレーションプロジェクト
全国多地点方言交流2002.11.25スタート



暁小が実践してきた協働学習での課題

— 大所帯であるがための悩み—



⇒ 交流プロセスでの学校間協働活動の密度がうすい！

原因：

- ・参加学校が多すぎる。
- ・各学校の取り組みの温度差がある。

結果：

- ・学校間の結びつきが弱く、相手学校意識がぼやける。
- ・プロセスでの交流が拡散し、テーマが深まらない。
- ・つながりから生まれる考えの変化や深化が少ない。



深まりのある交流を求めて..

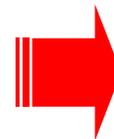
— ダイナミックな流れの中にミニプロジェクトを埋め込む—

デジタル キャッチボール！

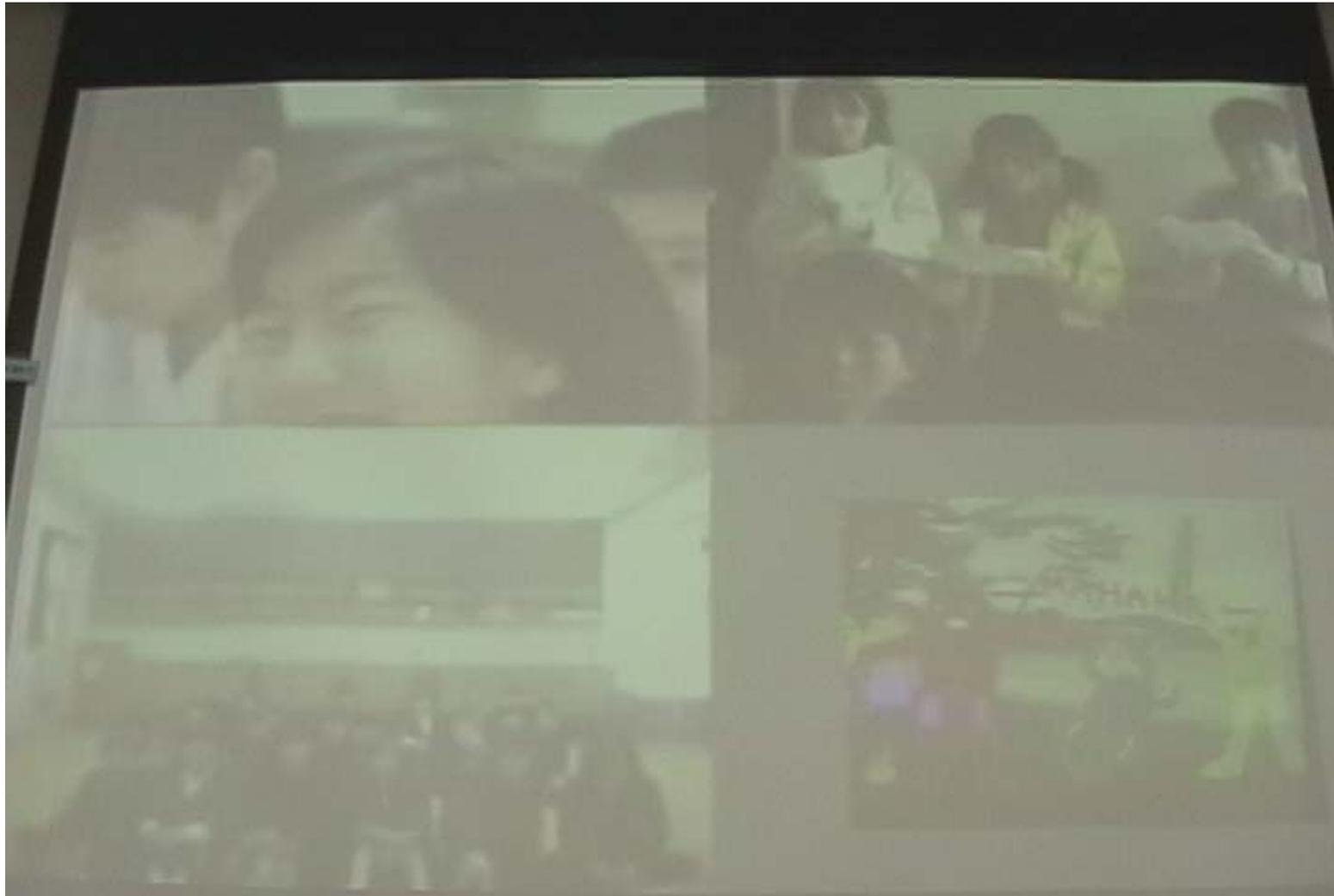


⇒ 協働製作 協働発信した デジタル方言紙芝居！

- ストレート！ :大島小が地元風景を撮影
- カーブ！ :暁小がお絵かきして紙芝居作成
- フォーク！ :発表TV会議で、大島小が朗読、暁小が紙芝居上演
- シュート！ :暁小が、紙芝居のデータを送付
- スライダー！ :大島小が、朗読をデジタル録音
- きえる魔球！ :暁小が、デジタル紙芝居を完成 Webで発信



沖縄県嘉手納小・石川県松任市蕪城小・宮城県気仙沼市大島小・暁学園暁小(三重)



フェニックスミニ画面4分割TV会議

デジタル表現ならではの、7つのウキウキ！

⇒ 情報を付加するウキウキ！

⇒ 情報を加工するウキウキ！

⇒ 情報を合成するウキウキ！

⇒ 情報を集約するウキウキ！

⇒ 情報を交換するウキウキ！

⇒ 情報を完成させていくウキウキ！

⇒ マルチメディアなウキウキ！





大島伝説 浦島太郎物語





協働学習「全国多地点方言交流」を通して



全国各地の方言を味わい、方言の楽しさやよさが実感できた。

- ・TV会議の特性を生かし、風土や風習の違いを実感できた。
- ・相手によく分かる発表表現の工夫や練習で、発信伝達力がUP。

大きなプロジェクトの流れの中に、ミニプロジェクトを埋め込んでいくことは、協働学習全体を活性化させ、プロジェクトの目的達成に有効である。

デジタル表現活動を交流のプロセスに取り入れることで、相手意識をより高められ、また、お互いに大いに楽しめ、学習が活性化した。今後、このタイプの活動の開発と、このような活動が、どのような子どもたちの学びの変化に結びついていくか、実践を重ねて追いかけていきたい。



デジタル表現スキルも、このようなプロジェクトの中で育てていくと、生きたスキルとして今後も使える。